

2026.01.29. 木曜礼拝

イエスの献身的で無条件の愛は 私たちの模範、祝福された結婚の源  
エペソ人への手紙 5章 15節から 33節

Leitu 牧師

一緒に祈りましょう。主よ、今夜、あなたの御名を祝福します。わお、主よ、私たちは今夜のあなたの御言葉のために準備し、姿勢を整えます。些細なことであっても、私たちが些細だと思っても、今週、あなたがどのように糧を与え、見守ってくださったかを覚えます。私たちが見落としているこれらのことを、本当に感謝します。主よ、あなたがいつも共にいてくださることを感謝します。聖霊よ、私たちと共にいてくださって、今夜御言葉に入るの、あなたのご栄光のために私たちに語り、癒し、私たちを変えてくださいますように。イエスの御名によってお願いします。アーメン。アロ〜ハ！！（会衆：アロ〜ハ！！）

どうぞご着席ください。皆さん、こんばんは。カルバリー・カネオへによろこそ。オンラインの方も歓迎します。まず最初に、J.D.牧師とご家族のために祈ってくださる皆さんに感謝します。私たちカルバリー・カネオへがそうであるように、皆さんの多くもそうだと思いますが、J.D.ファラグ主任牧師の復帰を待っています。皆さんと同じように、私も彼の復帰がより良い状況であればと、祈っていました。でも、彼とご家族のために祈ってくださってありがとうございます。ケリー・ファラグの人生のお祝い、永遠の命のお祝いは、2月7日（土）午前11時から、この教会で行い、その後昼食会もあります。その礼拝の様子は、オンライン・チャーチのために、ハワイ標準時の午前11時からすべて、[IDFarag.org](http://IDFarag.org)のウェブサイト、モバイルアプリ、Roku、ソーシャルメディアプラットフォームでライブ配信します。それから、J.D.牧師は、2月12日（木）から説教壇に戻り、「ゼカリヤ書」の節ごとの学びを再開する前に、彼の妻の死について、率直に「エゼキエル書 24章 15節から 27節」での題材の学びでお話しします。また、2月15日（日）から「聖書預言・アップデート」と「説教・メッセージ」を再開し、すべてをオンライン・チャーチにもライブ配信します。日曜日は、2つの礼拝があって、午前8時30分からと10時45分からで、両礼拝とも、マック牧師が、「ローマ人への手紙」を学び進めています。木曜日の夜の週半ばの学びは、午後7時から、この礼拝堂で私が「エペソ人への手紙」を続けます。第一火曜日の午後7時から、教会体として集まって、この礼拝堂で祈り会をします。次回の祈り会は、2026年2月3日（火）です。今夜、神の御言葉の中で、新約聖書の「エペソ人への手紙」を講解的に一節一節、学びます。聖書が語る男女の結婚とは、神が承認し、定められた唯一の結婚です。使徒パウロが「エペソ人への手紙」の書き手ですが神が作者です。すぐにでも学び始めたいので、頭を下げ祈り、神に御言葉への祝福をお願いしましょう。

天のお父様、主よ、私たちはあなたの御前に参り、教え、導いてくださる御言葉に感謝します。主よ、それはあなたからのラブレターで、あなたの指示書です。私たちは大好きです。主よ、私たちはスポンジのように吸収し、あなたの私たちへの愛のゆえに、あなたが私たちに教えたいと望まれるすべてを学びたいのです。私たちは福音の中心性を決して忘れません。あなたは御子イエス・キリストを遣わされました。だから私たちは信仰によってイエスを呼び求め、救いを受け、天国での永遠の命を得て、永遠にあなたと共にいることができるのです。御言葉を掘り下げ、あなたから聞くことができるこの時間を感謝します。互いに従い合うことだけでなく、結婚の契約において妻と夫が互いに従い合うことを教えてください。ですから、この時間を祝福ください。イエスの御名によって祈ります。アーメン。「エペソ人への手紙 5章」、15節から 17節、

— エペソ 5:15 —

ですから、自分の行動によくよく注意しなさい。今は困難な時代です。愚か者にならないで、賢くなりなさい。

— エペソ 5:16 —

あらゆる機会を十分に生かして、正しい行いをしなさい。

— エペソ 5:17 —

軽率に行動せず、主が望んでおられることを実行しなさい。

18節 19節、

— エペソ 5:18 —

（ぶどう）酒を飲みすぎてはいけません。そこには多くの悪が潜んでいるからです。むしろ、御霊に満たされ、支配していただきなさい。

— エペソ 5:19 —

聖なる歌をうたい、心の中で主に向かって賛美しながら、互いに主について語り合いなさい。

「エペソ人への手紙 5章」、20節 21節、

— エペソ 5:20 —

いつも、あらゆることを、主イエス・キリストの名によって、父なる神に感謝しなさい。

## ー エペソ 5:21 ー

### 互いに従順になって、キリストをたたえなさい。

イエスは、ご自分を信じる者たちが1つの体として結ばれるのを望んでおられます。神の聖霊が私たちに結びつけます。私たちは互いに愛し合い、どんなに意見が違っても受け入れ合うように召されています。神の御心を喜ばせるのは、主がくださった霊的賜物を用いて主に仕え、私たちが平安のうちに共に働くよう努めることです。私たちが謙虚で、親切で、優しく、忍耐強く、またお互いの欠点を許容する時に、私たちは愛の中を歩んでいるのです。神は、私たちが召しにふさわしく歩んでいるかを見ておられます。私たちが従順なら、嘆き、失望させる代わりに聖霊を祝福します。この世で歩む中で、思い知らされるのは、私たちは、イエス・キリストを象徴する使節であることです。私たちは、自らの罪の生活から逃げます。不道德な生活、酩酊ではなく、イエスの生き方に倣うのです。今日の21節、「互いに従順になって、キリストをたたえなさい。」今からすぐ、結婚契約における従順についてお話します。この21節は、キリストの体の中でクリスチャンが互いに従順になることについて述べます。互いに従い合うことは難しいです。私たちの罪の性質で、自分の道を求めますからね。アーメンですか？（会衆：アーメン。）

でもイエスが教えてくださったことに従うことで、神を敬うことができます。従順とは何を意味するのか？聖書の「従順」とは、イエス・キリストへの畏敬の念から、自発的に互いの権威とリーダーシップ下に身を置くことを意味します。劣等感や弱さを示すものではありません。私たちが目の当たりにした、全歴史における究極の従順は、人類が救われるように御子イエスは御父の御心に服従されたことです。主への服従がなければ、私たちには何の希望もありません。全人類は罪のうちに死に、永遠に滅びます。クリスチャンとして私たちは一致を望むべきです。自分のニーズよりも他人のニーズを優先して従い合わねばなりません。そう、私たちには自分の役割があって、教会体の中での役割です。ある人はキリストの体における指導者です。でも指導者は、決してその立場を乱用したり、利用したりしてはなりません。クリスチャンの聖霊は、感謝の心だけでなく、従順な御霊です。互いに従い合いなさいという神の命令に従順になることで、私たちはクリスチャンとして成熟し、神が私たちになるよう望まれる使節へと成長します。イエスに敵対する世にあって、イエスに倣い、召しにふさわしい歩みをするクリスチャンになります。「エペソ人への手紙5章」、22節、

## ー エペソ 5:22 ー

### 妻は、主に従うように夫に従いなさい。

使徒パウロは「エペソ人への手紙5章18節」で、ぶどう酒や、クリスチャンとしての証しを傷つけたり損なったりするようなものに酔わないようにと私たちに戒めます。そうならず、聖霊に満たされるよう私たちに励まし、かき立てます。私たちの内に聖霊が住んでおられるなら、私たちは従順の分野で神の命令に従いながら、夫として、妻として従順になるはずで、結婚において、夫と妻はまず主に服従し、次に互いに従順になります。それが美しい光景です。22節で、神は、妻に、主に従うように夫に従うよう召しておられます。完璧な結婚などありえません。結婚の結合なので、困難は常にあります。結婚の結合とは、もともと罪びとの2人を結びつけるものです。アーメンですか？ アーメンですか？（会衆：アーメン。）

従順にならず、自分の思い通りにするために闘ってしまう。妻のジーニーと私は、とても愛し合っています。私たちはお互いを大切にします。でも、私たちは罪びとで、完璧ではありません。皆さんと同じように、私たちにもその瞬間があります。いつの時代も結婚は難しいものですが、現代ではなおさらです。メディアは、妻たちや、結婚を考えている人を、世の中の方向性へと引っ張り込みます。私たちの神は、聖書の中で私たちに指示を与え、男女が結婚生活において従うべき方向性について、神の真理を教えてください。現代、特にここアメリカでは、妻が夫に服従するという聖書の概念は、多くの抵抗にさらされています。そうして争いと戦いが生じます。キリスト教会の中で、妻が夫に服従するようだが、神の命令であるにもかかわらず、それを認めない、あるいは抵抗するなら、不従順だと言わざるを得ません。主は妻に夫に従うよう命じておられます。夫が主イエス・キリストに従うのと同様に。繰り返しますが、イエスが私たちの模範です。イエスは、御父の御心に従われました。賢く、キリストを敬う妻は、夫が神から与えられ、定められたリーダーシップの役割を損なおうとはしません。そうすることは、家族という単位に問題を招き入れるだけです。神が夫を指導者として召されたのです。家族内で、夫と妻の間で、決定事項に関する話し合いがされることもあります。妻は夫の最終決定に従うべきです。男性も女性も、私たちは従順になって、神を喜ばせたいと願うべきです。聖書に、神は混乱の作者ではなく、秩序の神だとあります。混沌ではなく、秩序がもたらす恩恵が調和と平和をもたらします。「第一コリント人への手紙14章」、33節にこうあります。

## ー 1コリント 14:33 ー

### 神は混乱の神ではなく、平和の神なのです。聖徒たちのすべての教会で行われているように、

この箇所の文脈は、教会の礼拝で異言を語ることに関する秩序ある行動を語ります。でも、秩序こそが神の

ご本質です。神にすべての知識と知恵があられ、全能で、秩序を望んでおられます。私たちは、すべてについて、御言葉にある主の指示に従うのが賢明です。その導きによって、私たちは混沌と混乱の中の落とし穴を避けることができます。私たちが神の御言葉、すなわち神の指示書に従えば従うほど、私たちの生活はより整然としたものになります。結婚について、神は、秩序を求めるご自身の命令が守られなかったり、聞き入れられなかったりした場合にしばしば生じる悲惨な結果を防ぎたいと願っておられます。混乱や紛争が生じ、悲しいことに、結婚生活に神の秩序が欠けていると、別居や、さらに悪いことに離婚につながるがあります。「エペソ人への手紙5章」、23節から24節、

— エペソ 5 : 23 —

**なぜなら、キリストの体である教会がキリストにゆだねられているように、妻は夫にゆだねられているからです。**

— エペソ 5 : 24 —

**そういうわけですから、妻は、教会がキリストに従うように、どんなことでも喜んで夫に従わなければなりません。**

イエスは、父なる神から教会に対する権威を与えられました。神の教会を構成する夫と妻は、イエスに服従しなければなりません。それで妻は夫に従うのです。パウロは24節で、妻はすべてを夫に従うべきだと語ります。ですから、私たち夫も、イエス・キリストが夫として私たちに命じておられるすべてを、イエス・キリストに従うべきなのです。夫にとっても妻にとっても、「言うは易く行うは難し」だと思います。また、神が秩序を愛する神であられると読んだばかりです。私の継父は、デンマークとドイツの血を引いています。だから私の名前は、カヌースなのです。ハワイにいる私の家族は、ほとんど母方の出身です。今、主と共にある私の母はトケラウ出身です。トケラウは、南太平洋のサモアの北にある小さなサンゴ環礁群です。ニュージーランドの非自治領です。多くのトケラウ人がハワイ、オアフに移住しました。妻のジーニーの実家は沖縄人です。沖縄は日本の近くにある国です。私の妻は日本人に見えます。主の忠実な僕です。私たち家族の面倒もよく見てくれます。私には、ハワイ人、フィリピン人、ポルトガル人、サモア人、白人など、たくさんの方がいます。クリスチャン家庭に生まれたかどうかにかかわらず、私は、どの国籍の家庭でも、夫が妻からリーダーとして認められているのを見てきました。使徒パウロは、私が観察してきた家族単位で気づいたことを裏付けます。神によって定められ、召された夫は、妻とその家族の長で、リーダーである。このような夫のリーダーシップは、使徒パウロの命令ではありません。夫が家庭を統率することを定められた神からの命令です。神は、御子イエスが先導する教会体内の秩序を望んでおられます。また、家族内の秩序も望んでおられます。聖書は、「第一コリント人への手紙1章3節」で、神の秩序を証明します。

— 1コリント 11 : 3 —

**しかし、あなたがたに次のことを知ってほしいのです。すべての男のかしらはキリストであり、女のかしらは男であり、キリストのかしらは神です。**

もう一度、被造物に求めておられる秩序、神の願いに戻ってください。秩序には統率と方向性、そして安定性があります。家族単位で平和と調和の道へと導いてくれる権威構造があるのです。それがなければ、私たちは混沌と混乱を経験し、苦しむこととなります。家族の中で誤解と混乱が醜い頭をもたげ始めると、調和と平安は悪影響を受けます。どんな組織にも長がいます。クリスチャンであろうとなかろうと、誰にでも、自分の頭になる人がいます。大企業ではCEO（最高権力者）と呼ばれます。権力に関係なく、王や大統領は、最高権力者ではなく、キリストを認めるかどうかは別として、彼らは結局のところ、私たちの全知全能の神に導かれます。天国の構造は、神がかしらです。誰も答えられません。イエス・キリストは王の王ですが、父なる神に服従なさった唯一のお方です。イエス・キリストに従う者として私たち男性は、主イエスを人生のかしらとし、すべてに服従します。男性がキリスト・イエスに服従する時、女性は神から召されているように、夫に服従します。神の神聖な計画における女性の役割を知るとき、平安が訪れ、調和が生まれます。混乱と誤解が避けられます。神の神聖で定められた秩序は、神の愛の御心から生じるものです。神の神聖で定められた秩序は、神の愛の御心から生じます。混沌や混乱ではなく、人々の平安を望んでおられます。神は、別居や離婚が家族にもたらす醜い問題をご覧になりたくありません。子どもたちが愛する親から引き離され、長期的な問題に苦しむのを憎んでおられます。すべての神の戒めと同じように、夫と妻は、神の定められた召しと、神から与えられたそれぞれの役割を理解し、耳を傾けるべきです。「エペソ人への手紙5章」、25節、

— エペソ 5 : 25 —

**また夫は、教会のためにいのちを捨てるほどの愛を示されたキリストにならって、妻を愛しなさい。**

イエスは愛のゆえに、自ら進んで犠牲となって命を捧げられました。パウロがこの節に書いたこの愛は、「アガペー」の愛です。それは最高の愛の形です。英語で愛は1種ですが、ギリシャ語には、「フィリア」、「エロス」、「ストルゲ」、「アガペー」の4つの異なる愛の語彙があります。フィリアとは親しい友人の愛。

兄弟愛です。「エロス」は、男女の愛とロマンチックな関係のこと。「エロス」は、英語のエロティックの語源です。「ストルゲ」は、家族間の愛のこと。強い絆はなかなか切れません。最後にして最大の愛、この節で言及されている「アガペー」です。「アガペー」の愛は、無条件に捧げる愛で、神がどのように愛しておられるかを表します。イエスが十字架上で示された無欲の愛です。「アガペー」の愛は、「第一コリント人への手紙 13 章」、愛の章に示されています。妻が聖書の中で一番好きな章です。ご主人方、そのような愛で、イエスが示されたのと同じアガペーの愛を妻に持ってください。夫は妻のために献身的かつ無私無欲に身を捧げるべきです。奥さん方、もう一度言いますよ。夫は自分を犠牲にして、無私無欲で妻に捧げるべきです。それは、互いに愛し合い、許し合い、尊重し合い、仕え合う、無私無欲の無条件の愛です。無条件の愛の聖書的定義とは？ 神との関係は、私たちの神との友情です。自分の行動や発言に基づきません。私たちの過ちや愚かな発言は、主との立ち位置を変えるものではありません。私たちへの神の愛は変わりません。私たちは神の愛を稼ぐことも失うこともできません。私たちへの神の愛は無条件だからです。私たちの行動に関係なく、無条件に愛してくださるのです。同様に、夫の妻への愛は無条件であるべきです。愛は永遠に寛容です。恨みを持たず、許します。でも何があっても、良い時も悪い時も、夫は妻のそばにいます。妻が、どんなときも夫のそばにいるように。それが、私たちが結婚の誓いでお互いに約束したことです。死が 2 人を分かたずまで、一緒にいる。アガペー、無条件の愛が結婚です。季節を問わず、夫婦や家族をつなぎます。男が妻を献身的に、無条件に愛するとき、自分のことよりも妻のことを優先します。夫が妻をどのように扱うべきか、神の指示に従うとき、妻は、そんなふうに分を愛してくれる夫に服従したくなります。イエスが十字架上で命を捧げることで、彼女を愛する方法です。妻は、キリストを敬う夫のリーダーシップの役割を利用しようとはしません。その代わり、彼は妻を無条件に愛する。イエスがご自分の子である私たちに愛し、扱ってくださるのと同じように。使徒パウロは、これらの教会に宛てた手紙の中で、献身的で無私無欲の愛を見事に描いています。「第一コリント人への手紙 13 章」、4 節から、

— 1 コリント 13 : 4 —

愛は寛容であり、愛は親切です。また人をねたみません。愛は自慢せず、高慢になりません。

— 1 コリント 13 : 5 —

礼儀に反することをせず、自分の利益を求めず、苛立たず、人がした悪を心に留めず、

「ローマ人への手紙 12 章」、1 節にこうあります。

— ローマ 12 : 1 —

ですから、兄弟たち、私は神のあわれみによって、あなたがたに勧めます。あなたがたのからだを、神に喜ばれる、聖なる生きたささげ物として献げなさい。(イエスがあなたがたになさったように) それこそ、あなたがたにふさわしい礼拝です。

「ピリピ人への手紙 2 章」、2 節から、

— ピリピ 2 : 2 —

あなたがたは同じ思いとなり、(パウロがピリピの教会に語っています。) 同じ愛の心を持ち、心を合わせ、

思いを一つにして、

私の喜びを満たしてください。

— ピリピ 2 : 3 —

何事も利己的な思いや虚栄からするのではなく、へりくだって、互いに人を自分よりすぐれた者と思いなさい。

— ピリピ 2 : 4 —

それぞれ、自分のことだけでなく、ほかの人のことも顧みなさい。

— ピリピ 2 : 5 —

キリスト・イエスのうちにあるこの思いを、あなたがたの間でも抱きなさい。

— ピリピ 2 : 6 —

キリストは、神の御姿であられるのに、神としてのあり方を捨てられないとは考えず、

— ピリピ 2 : 7 —

ご自分を空しくして、しもべの姿をとり、人間と同じようになられました。人としての姿をもって現れ、

— ピリピ 2 : 8 —

自らを低くして、死にまで、それも十字架の死にまで従われました。

— ピリピ 2 : 9 —

それゆえ神は、この方を高く上げて、すべての名にまさる名を与えられました。

— ピリピ 2 : 10 —

それは、イエスの名によって、天にあるもの、地にあるもの、地の下にあるもののすべてが膝をかがめ、

— ピリピ 2 : 11 —

すべての舌が「イエス・キリストは主です」と告白して、父なる神に栄光を帰すためです。

私たちへのイエスの無私無欲・献身。イエスは、報われ、御父から最高の栄誉で、高く上げられました。だから私たちもまた、無私無欲で自分に死ぬと、御父によって霊的に高く上げられます。「コロサイ人への手紙 3 章」、19 節、

— コロサイ 3 : 19 —

夫たちよ、妻を愛しなさい。妻に対して辛く当たってはけません。

長年にわたり、私はあまりにも多くの家庭内虐待を目の当たりにしてきました。故意に他人を身体的に傷つけるなんて、理解しがたいことです。家庭内虐待は神の御目に重大な罪と見なされます。身体的虐待であれ、感情的虐待であれ、言葉による虐待であれ、あるいは心理的虐待であれ。結婚はイエスと教会の象徴です。イエスの花嫁の私たちとの。家族の一員に対する家庭内虐待は、クリスチャンがこの世で象徴し、模倣すべきイエスの人格の虚偽です。怒りや憤りは、コントロールが効かなくなり人を圧倒するほど激しくなることがあります。親が身体的虐待を受ける姿を子どもが目にとると、子どもに長期的な悪影響や影響を与える可能性があります。子どもたちが大人になるにつれて、親と同じような虐待的特徴を持って、親の真似をする可能性が高いです。「第一ペテロの手紙 3 章」、7 節にも同じように書かれています。

— 1 ペテロ 3 : 7 —

同じように、夫たちよ、妻が自分より弱い器であることを理解して妻とともに暮らしなさい。また、いのちの恵みをもとに受け継ぐ者として尊敬しなさい。そうすれば、あなたがたの祈りは妨げられません。

聖書でいう「honor/尊ぶ」とは、「尊敬する」「重んじる」「敬意を示す」という意味です。私たちはまず神を敬い、両親、年長者、指導者を敬うべきです。この箇所では、「自分の妻たち」を。聖書における敬いとは、相手の重要性を認め、敬意をもって接すること。神は最高の敬いを受けるお方です。妻もまた、愛していると言う夫から、高い敬いと愛と尊敬を受けるべきです。多くの場合、妻は肉体的に弱い器です。妻を愛する敬虔な夫は、妻を守るべきです。彼女の肉体的、霊的なニーズを満たし、そして家族をイエス・キリストに導く。夫に対する神の命令は自分の妻へ、彼女が受けるべき扱いでの接し方です。ペテロはまた、神の御目には夫と妻は平等だと書いています。神は妻を夫より劣っているとは見ておられず、結婚契約におけるそれぞれの役割で対等なパートナーです。夫がリードし、妻は服従するのです。だからといって、夫が妻に対して独裁者になったり、いじめたりするわけではありません。いいえ、決して。妻を愛し、妻を愛していると言う夫は、妻を敬い、愛するべきです。そして、イエスが私たちを愛し、気遣ってくださるのと同じように、尊敬と愛をもって接する。神は結婚の細部まで見ておられ、夫が妻を愛をもって扱い、対等な存在として敬うようにとの警告です。そうでなければ、神は夫である私たちの注意を引く方法があらわれます。ペテロの箇所は、神が私たちの祈りを妨げると語ります。不従順な夫、特に虐待する夫の。ペテロの指示に従うのが賢明です。彼はイエスの弟子で、3 年間イエスとずっと一緒にいましたから。「マラキ書 2 章」、13 節から 16 節にこうあります。

— マラキ 2 : 13 —

あなたがたはもう一つのことをしている。あなたがたは、涙と悲鳴と嘆きで、主の祭壇をおおっている。主が、もうささげ物を顧みず、あなたがたの手からそれを喜んで受け取られないからだ。

— マラキ 2 : 14 —

「それはなぜなのか」とあなたがたは言う。それは主が、あなたとあなたの若いときの妻との証人であり、あなたがその妻を裏切ったからだ。彼女はあなたの伴侶であり、あなたの契約の妻であるのに。

— マラキ 2 : 15 —

神は人を一体に造られたのではないか。そこには、霊の残りがあつた。その一体の人は何を求めるのか。神の子孫ではないか。あなたがたは、自分の霊に注意せよ。あなたの若いときの妻を裏切ってはならない。

— マラキ 2 : 16 —

「妻を憎んで離婚するなら、—イスラエルの神、主は言われる— 暴虐がその者の衣をおおう。一万軍の主は言われる。」あなたがたは自分の霊に注意せよ。裏切ってはならない。

こんにちの社会では、悲しいことに、結婚の誓いは真剣に受け止められていません。夫婦間の不倫が横行しています。クリスチャンの家庭でも。結婚式で交わした約束は、結婚生活に試練が訪れるとすぐに忘れ去られてしまいます。聖なる婚姻を結んでいる夫や妻が、その罪深い本性ゆえに、自分の欲望を追い求めます。怒りと憤りで対立する 2 人に、「離婚」という言葉が飛び込んできます。このような光景が、結婚生活にあまりにも頻繁に生じます。神と互いに交わした約束が汚され、さらに悪いことに、意図的に無視される。神は離婚を憎んでおられます。以上。不誠実は、妻にも夫にも起こり得ます。姦淫（不倫）も、神が憎まれる罪です。そう、神は、家族内で起こる家庭内虐待も憎まれます。私たちは皆、神が私たちの罪に対処してくださるのを知っています。特に、告白せず、悔い改めもしない罪に。有罪の当事者は、自分は逃げおおせたかもしれない、神は見えていないと思っています。しかし、無秩序な行動は、特に子どもとその家族に関わ

る場合、その結果をもたらします。神は、敬虔な両親の結びつきと影響から、敬虔な子を生み出すことを望んでおられます。悲しいことに、多くの子どもたちやクリスチャンの家族は、主との関わりを望みません。親が悪い見本を示したからです。私たち両親が主を愛する者でありますように。配偶者のことで悩んでいて、離婚を考えるようになっていたら、祈り、あなたとあなたの配偶者の罪の性質を神が助けてくださるようお願いしてください。罪は利己的で、自分のやり方を求めるものです。神があなたがたの心を変え、癒しをもたらしてくださいますように。「エペソ人への手紙 5 章」、26 節 27 節、

— エペソ 5 : 26 —

キリストがそうなさったのは、バプテスマ（洗礼）と神のことばで教会を洗いきよめ、きよく、汚れのないものとするためでした。

— エペソ 5 : 27 —

こうして、一点のしみも、しわも、何の傷もない、きよく完全な栄光の教会として迎え入れようとされたのです。

私たちがキリストのもとに来て、キリストを主で救い主として受け入れると、私たちの罪は清められ、過去、現在、そして未来の罪さえも赦されます。私たちは聖霊の洗いと再生、人生を変えてくださる働きによって清められます。新ジェームス王訳聖書で、「エペソ人への手紙 5 章 26 節」は、

— エペソ 5 : 26 — (新ジェームス王訳)

キリストがそうなさったのは、水で洗うことにより、言葉によって、教会をきよめて聖なるものとするためであり、

sanctify/聖なるという語彙は、分離する・聖別するという意味です。

神は、私たちを、しみも傷もなく生きるお方御子イエスのように成長させたいと願っておられます。イエスは罪のない人でした。夫婦は、神の御言葉を理解することで成長しながら、清められ、花を咲かせ、繁栄します。キリストが家庭のかしらとして君臨するとき、結婚生活は花開きます。私たちの主キリストへの献身を深めれば深めるほど、互いへの愛は強くなります。そして、健全な結婚、特に神を敬う両親の間の結婚は、愛が一貫してますます強くなり、深まります。その一方で、利己主義は破壊し、混乱をもたらします。これは、神が私たちの結婚に望んでおられる秩序とは正反対です。主への献身、そして配偶者への献身が深まるよう祈ります。そうすれば私たちは、ますますイエスに似た者となります。「エペソ人への手紙 5 章」、28 節から 30 節、

— エペソ 5 : 28 —

これこそ、夫が妻に対してとるべき態度です。つまり、夫は妻を、自分の体の一部のように愛さなければなりません。二人は一体なのですから、夫が妻を愛する時、自分自身を愛しているのです。

— エペソ 5 : 29 —

自分の体を憎む者はいません。愛し、いたわります。それは、キリストが自分の体である教会をそうされたのと同じです。

— エペソ 5 : 30 —

私たちは、その体の各部分なのです。

男性が自分の体を大切にし、健康で、機能的で、見た目が良いようにするのと同じです。皆さん笑っておられますね。ですから、妻を愛し、大切にするのは、自分自身を大切にすることと同じことです。男性が妻にどのように接し、妻を気遣うかは、その人の人格と誠実さを物語ります。妻を愛している男性は、自分自身に対しても持っている愛と妻への自尊心を明らかにします。人が主を愛するのと同じで、同じように妻を愛すべきです。ベストフレンドです。繰り返します。夫は自分のために犠牲を払うことを気にかけるのと同じで、花嫁にも同じことをすべきです。このように妻に接する男性は、妻から愛され、尊敬され、賞賛されます。このように愛されている妻は、夫に隠し事をするのは難しいでしょう。愛があれば、彼女は夫の優しさに応え、自分を大切にするように夫を大切にします。尊敬と優しさを持って互いに接する夫と妻は、イエスを知っていると公言する夫婦の成熟と発展を示します。彼らは、自分たちがイエス・キリストの体、教会に真に従う者で、その一員だと世に表明し、明らかにします。「エペソ人への手紙 5 章」、31 節 32 節、

— エペソ 5 : 31 —

夫と妻が一体であることは、聖書もはっきり証言しています。「人は結婚する時、父母のもとを離れなければならない。それは、完全に結びついて、二人が一心同体となるためである。」(創世 2・24)

— エペソ 5 : 32 —

この奥義は偉大です。私は、キリストと教会を指して言っているのです。

これには深い理解が必要ですが、私たちがキリストの体の各部分であることを説明するには適切な例です。夫婦の結婚が神の導きの上に築かれ、神の導きに依存するとき、その結婚は祝福された結婚となります。結婚してから 20 年間、ジーニーと私は教会に行ったこともなく、神イエスについて何も知りませんでした。前

にもお話ししたように、私が大人になるまで私の家族は、教会に行ったことがありません。一方、妻は、中学年でセブンスデー・アドベンチストの学校に通いました。だから結婚してからの2年間は大変でした。私は神から離れて生活していました。ジーニーは私のために祈ってくれていました。そして私の生活が変わり、主は私をご自身のもとに引き寄せられました。26年前、私は救われました。そして私たちの結婚は花開きました。それは、私が思いもしなかった、考えもしなかった、想像もしなかったものに花開きました。私たちがイエスを人生の主としたので、計り知れない祝福を受けています。ここハワイでは、自分で引っ越しをする余裕のない夫婦が多いです。31節に、夫婦が1つになることが示されています。親の権威や影響から離れ、自分たちの家族単位を確立すること。結婚は、やはり神によって定められた霊的結びつきです。神は結婚生活の中で、また結婚生活を通して私たちに多くのことを教えてください。結婚している多くの人が経験したように。そう、世の中にはイエスを知らない、あるいはイエスを否定する幸せなカップルがたくさんいます。しかし、神を離れては、彼らにはこの世にしかありません。イエスが救い主でなければ、彼らに永遠の希望はありません。私たちクリスチャンカップルへの神の約束は、天国での永遠です。神の価値観に基づいた結婚は、見ていてとても美しいものです。見て、体験することは素晴らしいことです。信者にとっては、もはや謎ではありません。なぜなら、彼らはあるべき結婚を経験しているのだから。神の召しに従順であるなら、神によって結ばれ、1つになります。私たちのほとんどがそれぞれ性格が正反対で、特にジーニーと私はそうですが、私たちは1つになって考えます。特に霊的な問題においては、同じように話し、同じように考えます。私たちは結婚して46年になりますが、最初に出会ったときよりも、今のほうがお互いを愛しています。妻は年をとってもどんどん美しくなっていくんです。ええ、マジです。本当に。もっと美しくなります。私は毎日彼女にそう言います。私は、いつも彼女が心の中で作った歌を歌っているのを聞きます。なぜなら、彼女は主をとても愛しているからです。孫たちは彼女の歌を聞くのが大好きです。♪イエスはあなたを愛しておられますよ。聖書がそう私に教えるからです。♪ 妻ジーニーと私の結婚が、息子やその子どもたちだけでなく、良い見本になることを願います。私たちが接する世の人々のためにも。皆さんも同じように感じていると思います。「エペソ人への手紙5章」、33節、

— エペソ 5 : 33 —

そこで、もう一度言います。夫は妻を、自分の体の一部のように愛しなさい。そして妻は、夫を心から尊敬し、従いなさい。

独身で、いつか結婚したいと思っている人はどうなのか？ 使徒パウロはエペソの教会に手紙を書きましたが、こんにち、独身の方にも語りかけます。失礼、コリントの教会宛です。「第一コリント人への手紙7章」、32節から、

— Iコリント 7 : 32 —

何をするにしても、あなたがたがあれこれ思いわずらわないようにと願います。独身の男性の場合、時間を主の働きのためにささげること、どうしたら主に喜んでいただけるかを常に考えることもできます。

— Iコリント 7 : 33 —

しかし、結婚した男性はそうはいきません。どうしても、この世での責任や、妻を喜ばせることに気を取られがちになります。

— Iコリント 7 : 34 —

こうして、彼の関心は分散するのです。結婚した女性についても、同様のことが言えます。独身の女性は、何とかして主に喜ばれる者になりたい、主に喜ばれることをしたいと心を配ります。しかし、結婚した女性は、家事や夫の好みまで、いろいろ考えないわけにはいきません。

— Iコリント 7 : 35 —

私がこう言うのも、あなたがたのためを思うからであって、結婚させまいとしているわけではありません。私が願うのは、あなたがたが、主から思いをそらすようなことをできるだけ避けて、主のために役立つことをすることなのです。

— Iコリント 7 : 36 —

しかし、もし高まる感情を抑えるのがむずかしいので結婚すべきだと考える人がいれば、それも結構です。罪ではありません。そういう人は結婚しなさい。

— Iコリント 7 : 37 —

しかし、もし独身でいるだけの意志力をもち、自分は結婚する必要もないし、むしろしないほうが良いと考えるなら、その決心はりっぱです。

— Iコリント 7 : 38 —

つまり、結婚する人は良いことをしているのであり、結婚しない人は、もっと良いことをしているのです。あなたが肉体的な情欲を抑え、男や女に欲情せず、主に仕えたいと願っているから一生独身なら、あなたは祝福されます。本当に結婚したいなら、神を待ち望みなさい。そうすれば神は、あなたが一生を共にするパ

ートナーを連れてきてくださいます。あなたが祈り、その人物を明らかにしてくださるよう、神にお願いしてください。結婚していても、独身でも、私たち皆、私たちが愛しておられる救い主イエスが必要です。イエスは私たちが罪の結果から救いたいと願っておられます。預言者イザヤは、私たちの罪が永遠に私たちが神から引き離すと告げます。(イザヤ 59 : 2)

その断絶は死と呼ばれます。この世に死があるのは罪のせいです。罪は、すべての人が死ぬ理由です。私たちは皆罪を犯しているから皆死にます。

#### 一 ローマ人への手紙 3 章 23 節 一

「すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、」

神の栄光に及ばないということは、火の池や地獄と呼ばれる場所に永遠に行き着くということです。天国には罪は存在しません。天国では、神の光は眩いばかりに大変輝いています。それは神の純粋さを表すからです。不浄なものは何でも燃やします。ですから、天国には罪は存在できません。私たちの罪の結果は死です。

#### 一 ローマ人への手紙 6 章 23 節 一

「罪の報酬は死です。しかし、神の賜物は私たちの主キリスト・イエスによる永遠の命です。」

神は無償の贈り物であなただけを救いたいと願っておられます。神の御子イエスは、進んで、無私無欲で、捧げ物となって十字架で死なれました。私たちが永遠の死から救うために命を捧げられました。私たちが天国でイエスと御父と永遠に共に過ごせるように。

#### 一 ヨハネ 3 : 16 一

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

唯一の条件は、信仰によって信じること。神があなただけを救うために選んだご方法です。それを信じるなら、あなたを助けるため、あなたを救うため主に呼び求めてください。

#### 一 ローマ人への手紙 10 章 13 節 一

『主の御名を呼び求める者はみな救われる。』

今夜、あなたは救われることができます。この礼拝堂にいる方、オンラインの方で、もしかしたら主と共にいたい場所にいる人、もし私の助けがいるなら、今夜、イエスを受け入れる祈りに導かせてもらえたらと思います。神はあなたを天国へと願っておられるからです。何をすればいいの？ 私は神に何を言えばいいの？ と疑問に思うかもしれませんが。謙虚になって、罪を犯したことを認めるだけです。信仰によって、神に救ってくださるようお願いしてください。神は決して誰にもご自分の下へ来るように強制されません。まだ準備ができていないのであれば、あまり長く待ちすぎないように祈っています。でも、あなたがそうして、今日救われたいなら、あなたの人生は決して同じではありません。それがあなたなら、私の祈りについてきてください。でも誠実であることが大切です。誠実であれば、神は聞いてくださいます。オンラインの方も神に呼びかけることができます。では頭を下げ、祈りましょう。イエスを救い主として受け入れる準備ができていますあなた、この地上での時間が終わったとき、天国にいたいなら、私の後を繰り返してください。どうか誠実になって祈ってください。

天のお父様、私は自分が罪びとだと認めます。どうか私の罪をお許してください。イエスよ、あなたが私を愛して下さり、私のために十字架で死んで下さり、葬られ、3 日目によみがえられ、戻って来られるのを信じます。信仰によって、私はあなたを私の主、救い主として呼び求めます。私を愛して下さりありがとうございます。私を救って下さりありがとうございます。イエスの御名によって、アーメン。

心から祈った方、おめでとうありがとうございます。ここであなたに会えなかったり、この地上で会えなくても、天国で会えます。神があなたを祝福されますように。皆さんご起立ください。祈りで締めくくりましょう。

お父様、あなたの御言葉でのこの時間をありがとうございます。私たち教会に語ってくださってありがとうございます。結婚を考えている人たち、結婚している人たち、主よ、あなたを愛し、あなたに従う者と公言する私たち夫や妻たちが、従順でありますように。あなたが今夜、御言葉を通して教えてくださったことに従いますように。今夜のご指導に感謝します。ファラグ一家とその友人たち、私たち教会の心に、あなたの癒しの御手がありますように。主よ、今夜、私たちが交わり、パンを裂き、一緒に過ごす時間をあなたが祝福して下さり、私たちが安全に帰宅させてくださいますように。イエスの御名によって、これらのことを祈ります。アーメン。

---

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリー・カネオへ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii 筆記 hukuinn7